

荷主企業から見た内航海運

ライオン株式会社
SCM本部 SCM統括部長

河野 淳 様

国内輸送における 内航海運の利用について

2019年8月30日
ライオン株式会社

本日の内容

1. 当社概要
2. 当社における国内輸送の現状
 - 輸送モード別国内輸送量
 - 国内輸送に関する考え方
3. 当社の内航海運利用について
 - メリットとデメリット
 - 内航海運に関する取組みおよび今後の見通し
 - 内航海運についての課題

※非公表資料

1. 当社概要

連結業績	売上高：3,494億円	営業利益：283億円	2018年12月31日現在	
資本金	344億円	従業員数	連結：6,941名	創業 1891年10月

創業 127年



1891年
小林富次郎商店

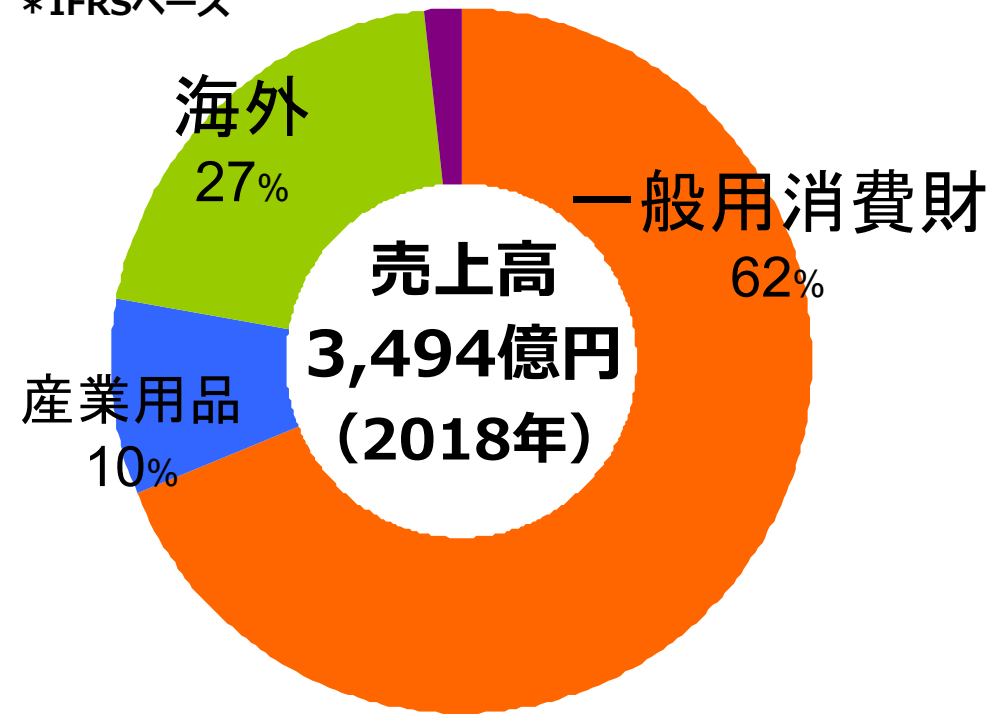


1896年
獅子印ライオン歯磨



1920年
植物性ライオン
せんたく石鹸

* IFRSベース



2018年より適用する会計基準を国際財務報告基準(IFRS)に変更しています。

一般用消費財事業

事業分野と市場地位



その他



薬品事業

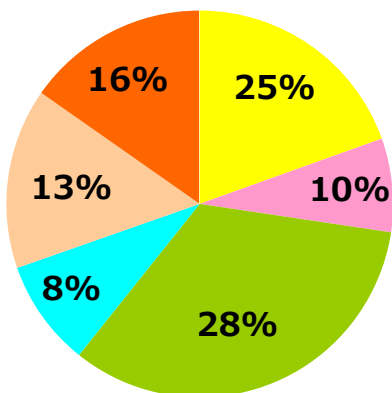
中高年目薬シェアNo.1 解熱鎮痛剤シェアNo.2



リビングケア事業



2018年度 連結売上高
2,153億円



オーラルケア事業

歯磨・歯刷子No.1シェア



ビューティケア事業

ハンドソープNo.1シェア

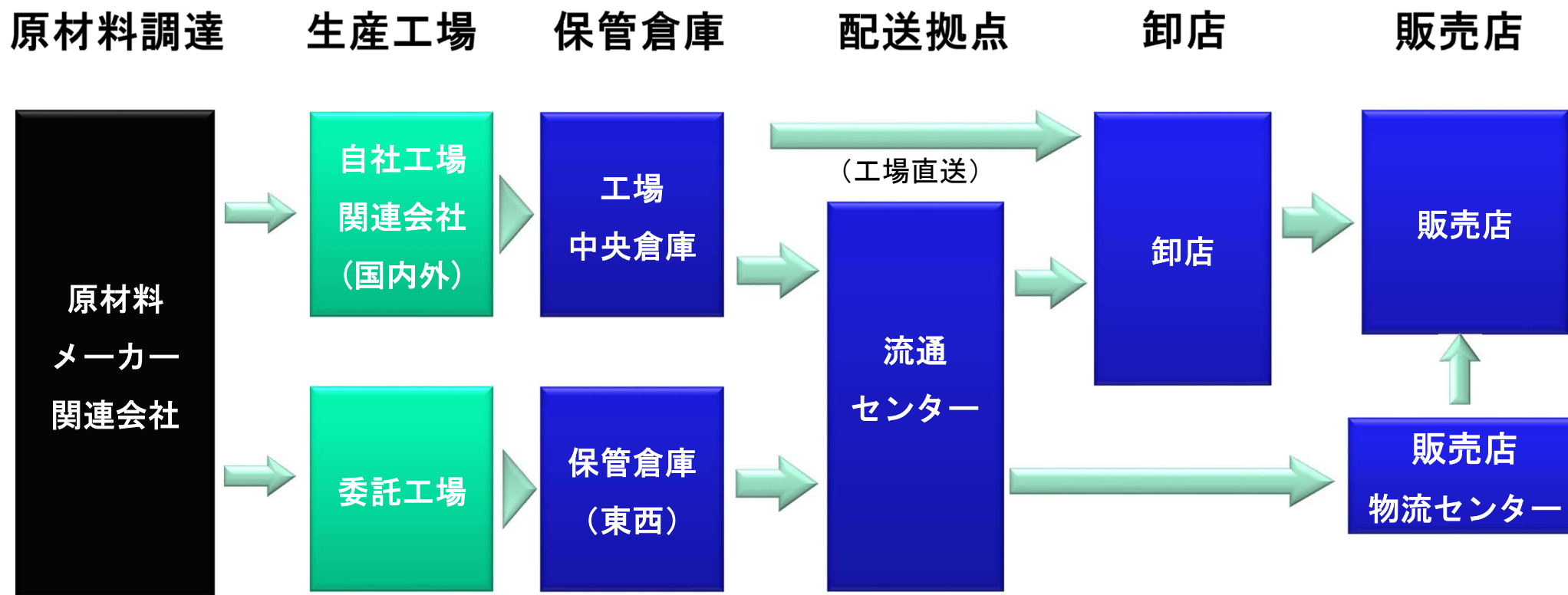


ファブリックケア事業



シェア：当社調べ

当社の物流フロー



3. 当社の内航海運利用について



メリット・デメリット

- ・ 鉄道<船<トラックのため、トラックから切替え時はCO2排出量が減少するが、鉄道からの切替では増加する
- ・ 物量がまとまらないとモード活用しづらい、ルートが限定的で活用範囲が狭い

内航海運に関する取り組みおよび今後の見通し

①現在の取組み

- ・ 鉄道コンテナ輸送能力の限界及び輸送モードの大型化により、海上輸送の活用強化

②今後の見通し

- ・ 長距離トラック輸送から海上輸送へのシフト（ドライバー長時間拘束の解消）
- ・ BCPの観点から海運を含めた複数代替ルートの備えを強化

内航海運についての課題

- ①内航海運の全体像の可視化
 - ・発着港、キャリア、運行スケジュール、料金等が業界共有されていない
(⇒全体把握できず、利用しづらい)
- ②ルートの拡大
 - ・500km前後の長距離トラック輸送の代替海運ルートの拡大
(⇒ドライバー拘束時間の社会課題の吸収)
- ③物流品質の安定化
 - ・新規ルートやキャリアによる物流品質に差がないことの確認が必要
- ④輸送の安定化
 - ・港湾ストライキ等が頻発しないこと
- ⑤慢性的な混雑解消
 - ・本州→沖縄ルートの混雑解消

今日を愛する。

LION